



お茶の水女子大学

日本言語文化学会

第 62 回研究発表会

日時: 2026 年 10 月 24 日(土) 13:00~17:55

会場: お茶の水女子大学 共通講義棟 1 号館 3 階 304 教室

※正門からお入りください。

参加費(茶話会費): 会員 500 円 非会員 1,000 円

※学生の方は学生証の提示により無料となります。

受付は 12:45~、304 教室にお越しください。

※ハイフレックス開催(会員のみオンライン可)

同日開催

大学院進学説明会

日時: 10 月 24 日(土) 10:00~12:00

会場: 共通講義棟 1 号館 3 階 302 教室

詳細については、日本語教育コース HP をご覧ください。

<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/c-cultures/jle/>

【タイムスケジュール】

総会・開会式 13:00-13:10

講演会 13:15-14:25

金 孝卿 (麗澤大学)

学びを問い、学びの場をつくる

—日本語教育の実践・研究を通して考えてきたこと—

茶話会 14:30-15:30

*お茶の水女子大学大学院生 ポスターセッション同時開催

口頭発表① 15:40-16:20

陳 昊

(広島大学 大学院生)

中国人ビジネスパーソンによる電子メールでの依頼における語用論的特徴

口頭発表② 16:25-17:05

片山 ゆかり

(お茶の水女子大学 大学院生)

台湾の日本語世代女性における高齢期の日本語保持

—形成期の習得条件と戦後の日本語使用経験との関連—

口頭発表③ 17:05-17:45

菅谷 奈津恵 (東北大学)

上級読解クラスにおけるノート作成と内容説明文の変化

石井 怜子

閉会式 17:50-17:55

【講演会】「学びを問い、学びの場をつくる—日本語教育の実践・研究を通して考えてきたこと—」

日本語教育に携わるなかで、私は、学習者はどのように学ぶのか、その学びに教育はどのように関わることができるのかを考えてきました。大学院では、自律的な学びへの関心から、学習過程の意識化について研究し、その後、内省、ピアとの対話や協働へと視点を広げてきました。

その後、教師研修や大学での日本語教育、ビジネスコミュニケーション教育、国際協働学習など、対象や目的の異なる教育実践に携わってきました。実践を重ねるなかで、学びは必ずしも教育者の意図どおりに生じるものではなく、他者との関係や対話、活動、社会的・文化的な文脈のなかで生まれ、変化していくものであると考えるようになりました。本講演では、これまでの実践・研究を振り返りながら、学びをどのように捉え、その学びを支える「場」をどのようにつくろうとしてきたのかをお話します。

お茶の水女子大学 日本言語文化学会

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

(お茶の水女子大学大学院 日本語教育コース室内)

E-mail: genbun@cc.ocha.ac.jp

<http://www.dc.ocha.ac.jp/comparative-cultures/jle/genbun/>